



受験勉強本格化!



6月に入り、高校総体を終えて、平常講習が始まり、週末には3年生最初の模擬試験が行われました。6月8日(木)には河合塾の佐々木先生を講師に迎え進学講演会も行われ、まさに、受験に向けて学年全体が動き出しました。まずは、火曜日から金曜日は7時間授業(金曜日は6時間)の授業のあとに70分の講習を受けて、放課後自分なりの受験勉強をしていくという生活スタイルを確立しましょう。また、今後、週末に模試がどんどん入ってきます。模試が終わった後の日曜日や講習のない月曜日を使ってしっかり模試の内容を復習するというサイクルを築き上げましょう。模試は受けっぱなしが一番ダメ。時間と費用の無駄になります。

進学講演会でもあったように受験勉強は戦略的に行わなければいけません。自分の得意不得意を見極め、受験科目と配点、目標点を確認して、時間を計画的に使うことが大切です。「努力すれば必ず報われる」というのはまやかしです。戦略的に、計画的に努力しなくては報われません。講演会の最後にも言いましたが誰も未来を見ることはできません。これをやれば必ず上手くいくといった魔法のアイテムのようなものは無いのです。だからこそ、考え、工夫して戦略を立てたら結果を信じて邁進する。考査や模試の結果を見ながらその戦略を修正するといったことを繰り返しながら、受験本番を迎えられるようにがんばりましょう。

最後に、まだ、大会等があり部活動を引退していない諸君は、とにかく限られた時間を有効に使うことを心がけましょう。私も硬式野球部でしたので、高校生のときは1学期中の平常講習は受けていませんでしたし、模試も事前受験でした。講習の内容は担当の先生に聞きに行き、ノートを友達から見せてもらい最低限の穴埋めをしましたし、練習試合から帰宅した後、仮眠して復習をした記憶があります。ベッドで寝ると起きれなくなるので床の間の畳に寝て、シャワーを浴びて目を覚まして英語の長文読解に立ち向かった記憶があります。昼休み弁当を食べながら化学の教科書を開いた記憶も・・・懐かしいです。今振り返ると受験を通じて時間の使い方を身につけたのだと思います。とにかく、自分の時間と情熱を注ぎ込んできたものだと思いますから最後まで全力で向かってください。

保護者の皆様へ

6月17日(土)に令和5年度保護者対象進路講演会(第1回PTA3学年部会)を開催します。参加申し込みは6月9日(金)までとしておりましたが、ご都合が変わって出席できる場合は是非ご参加ください。学校法人河合塾からの講師による講演会と学年から進路関係の情報提供もしたいと思います。

また、模擬試験の期日等につきましては学校HPの行事予定をご確認ください。終了時刻に関しては、模試によって異なりますのでその都度お子様にご確認くださいようお願いいたします。



3年生最初の共通テスト対策模試を終えて ～模試活用の手引き～

- ① 自己採点結果から第1志望校の合格ラインとの差を調べる。
- ② 次の模試(夏休みの全統模試)までに何点上げるか教科ごとに設定する。
- ③ 正答した問題は根拠が正しいのか、誤答した問題は惜しかったのか全く見当外れだったのかを確認する。進研模試デジタルサービスのweb解説を活用!
- ④ 個人成績表が配付されたら、
 - ・自己採点との差
 - ・分野ごとに平均得点率との差を必ず確認して戦略を立て直す。

高校総体お疲れ様！！

5月下旬の陸上競技を皮切りに、6月2日（金）～5日（月）に青森県高校総体が開催されました。陸上競技部や水泳部、テニス部で上位入賞があり、団体種目でもテニス部男子がベスト4、女子バレーボール部と男子バスケットボール部がベスト8進出とこれまでの練習の成果が結果となって表れた部が複数出ました。悔いの残った選手もいると思いますが、正直、負けて悔い無しというのはなかなか難しいものです。負ければやはりもう少しあのときこうしておけば良かったと後悔はするものです。悔しいという気持ちは情熱を注いできたことの裏返しでもあります。一生懸命やっていなければ悔しい気持ちは逆に生まれないのではないかと思います。私も勝負の世界に長い年月身を置いてきていますので、正直、負けて悔い無しと思ったことは一度もありません。いつも、あと一試合でも多く選手に試合をさせてあげたかったといつも思います。その繰り返しをしてきたからこそ、言えることは、時間を惜しみ、今、自分がすべきことを考えてそれに注力することが大切であるということです。東北大会等の次のステージに進む者、今後大会を控えている者、部活動に区切りをつけて受験勉強に向かう者、それぞれですが、これまでの経験を糧にして前に突き進んでください！応援しています。

壮行式の様子をご紹介します

高校総体に先駆けて6月1日（木）に壮行式が行われました。高校総体および硬式野球部の甲子園予選、競技かるた部の全国大会の壮行式も兼ねての実施となりました。今年は、応援団が不在ということで応援委員長が在籍している硬式野球部が応援パフォーマンスを行い、有志生徒による応援演舞、教育実習生からの応援メッセージ、最後にキャサリン先生によるチアパフォーマンスと大いに盛り上がった壮行式でした。退場時には吹奏楽部の演奏も流れ、素晴らしい壮行式でした。機運が高まり好結果につながったのではないかと思います。このような「がんばる人を応援する気持ち」はとてもすばらしい、大切なことだと思います。五所川原高校の生徒の素直さを感じられ、私も良い時間を過ごすことができました。

